

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

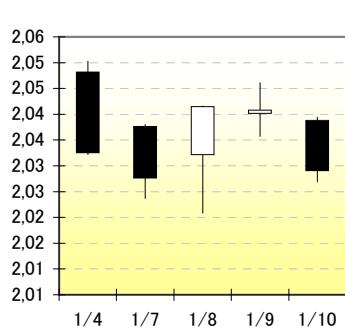


1. マーケット・レート

			1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0310	2,0370	2,0370	2,0310	2,0350	+0,0040
	USD/YEN	Spot	87,82	87,20	87,77	88,20	89,17	+0,9700
Swap	EUR/USD	Spot	1,3112	1,3084	1,3054	1,3256	1,3342	+0,0086
	BRL/YEN	Spot	43,30	42,70	43,00	43,47	43,86	+0,3900
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,05	1,24	1,27	1,23	1,18	-0,0469
		1Year(p.a.)	1,19	1,33	1,31	1,29	1,24	-0,0593
Stock	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,08	7,08	7,10	7,07	7,05	-0,0200
		1Year(p.a.)	7,12	7,16	7,14	7,11	7,10	-0,0093
Stock	Bovespa		61.933	61.128	61.579	61.678	61.497	-180,88
Bond	CDS Brazil 5y	102,07	103,00	106,10	107,93	110,16	+2,2320	
	Global 40	125,125	125,125	125,125	124,500	125,000	+0,5000	

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント なし	予想	実績	前回	オーガスティン 伯財務省長官	レアル相場は2013年度の インフレ率のコントロールに役立つ
------------	----	----	----	-------------------	-----------------------------------

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0380 で寄り付いた。
- 週初は大口の資金流入の噂からレアルは 2.02 台前半まで上昇した。
- 翌 8 日には週間高値を記録し、3ヶ月振りの水準となる U\$1=R\$2.0210 まで続伸したが、市場では急激なレアル進行に対する反動や利益確定と思しき動きが見られると、レアルは一気に 2.0300 を下抜けて反落した。
- 週央にかけてもレアル売り優勢の動きは止まらず、週間安値となる U\$1=R\$2.0460 まで続落したが、大口の資金流入が噂されると、レアルは 2.03 台後半まで反発した。
- 翌 10 日には 12 月の中国輸出総額が市場予想を上回ったことや ECB による政策金利据え置きが全会一致で決定されることを受けて、リスク資産やユーロが上昇、レアルもつられて再び 2.02 台後半まで上昇した。
- 週末にかけては伯中銀によるドル買い介入警戒感や大口の資金流出の噂からレアルは 2.03 台後半まで再び売り込まれ結局 U\$1=R\$2.0350 で越週した。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
1/14	貿易収支(FOB)-週次	jan/13	--	-\$100M
1/15	小売売上高指数(前月比)	Nov	0.2%	0.8%
1/15	小売売上高指数(前年比)	Nov	8.1%	9.1%
1/15	広義小売売上高(前年比)	Nov	5.5%	14.5%
1/16	FGV CPI IPC-S	jan/13	0.82%	0.77%
1/16	ブラジル中央銀行 ターゲット金利	jan/13	7.25%	7.25%
1/17	FIPE消費者物価指数(週次)	jan/13	0.91%	0.86%
1/17	FGVインフレ率-IGP-10(前月比)	Jan	0.57%	0.63%
1/17	CNI生産設備稼働率	Nov	81.1%	81.0%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.01 – 2.06

今週はレアルが一気に3ヶ月振りの水準となる2.02台前半まで買い進まれる場面が見られ、先週に引き続きレアル買い圧力が強い一方で、市場では大口の資金流出の噂も聞かれ、一段のレアル高進行には至っていない。来週は国内においてレアル相場を動かす要因としては11月の小売売上や伯金融政策委員会(COPOM)の開催が予定されている(政策金利は7.25%に据え置かれることが予想されている)。しかしアンオフィシャルながら中銀によるレアルの上限レートと目される2.0000に迫る局面では引き続き伯中銀によるドル買い介入に対する警戒感も強く、値動きはやや限定的となるであろう。